

「仕事」にも不思議な効力がある！

4 1. 苦手な上司と心を“交信”させる方法

あなたの考え方を変え、つねに愛のイメージで相手を包み込むようにすれば、潜在意識はあなたの気持ちを相手に伝えます。

ある女性は勤務先の女性の上司をひどく嫌っていました。この女性は高血圧と胃潰瘍で苦しんでいました。彼女はこの状況を何とかするため、自分の人生を変えようと思いました。その手始めとして、今までさんざん不快な態度をとった女上司と和解する計画を立てました。

彼女は女上司と話し合う努力をしましたが、こちらが嫌えば相手も嫌うの法則で、女上司は女性の申し出を拒絶しました。女性は一計を案じ、毎朝十分間だけ、女上司を愛と善意で包み込むイメージを描いてから職場に向かうことにしました。

数週間後、女性が週末を過ごすためサンフランシスコ行きの飛行機に乗りましたが、なんと隣の座席には女上司が座っていました。彼女が黙礼すると、女上司は丁重に返礼してきました。目的地へ着くまで二人は初めて親しく会話を交わし、すっかり打ち解けました。それからしばらくして、女性は胃潰瘍と高血圧が完治したことを医者から告げられたのです。

似た話は日本にもあります。A子さんは親友のB子さんとケンカし、以来二年間二人は音信不通でした。A子さんはB子さんに会いたくなりました。電話をかけようと思いましたが、相手がどう出るかわからないので不安です。

つっけんどんな対応でもされてまたケンカしたら、もう永久に仲違いのままになる。それが恐くて電話をかけられなかったA子さんは、B子さんも自分と同じ気持ちになっているところをイメージしました。

二週間、毎日毎日そのイメージを抱いて、やっと電話をする気になって受話器を取り上げようとした瞬間、電話がかかってきました。その電話はB子さんからでした。B子さんもA子さんと同じ気持ちになっていたのです。

このイメージ作戦は恋する人に自分の気持ちを伝えるときにも応用できます。

私たちは人と会ったり、電話をしたり、手紙を書いたりする以外にも、相手と交信する能力を持っているのです。それはお互いの潜在意識による交信です。いまここにあげた二つの例は、まさに潜在意識による交信がいかに効果的であるかを物語っています。
